



C 3 方眼で考える

C 4 台形



C 5 概形がとらえられない。

C 6 長さの計測がわからない。

C 7 わからない。

### 3. 発表・検討

「自分の考えを発表してください。」

C 1～C 4 それぞれのやり方を発表する。

「それぞれの考え方でいいなと思ったところはどこですか。」

C 1・C 2・C 4 簡単です。正確に出せる。

教師がおよその面積を知らせる。

### 4. まとめ

「今日の学習でわかったことや感想をノートに書きなさい。」

C：ぐにゃぐにゃの形でも面積が出せる。

C：今までの求め方で面積が出せる。

・ C 3 の児童には、簡単な方法として概形にとらえることに気づかせる。

・ C 5 の児童には、今までに学習した図形に直せないかと助言する。

・ C 6 の児童には、手や指を使って測れないか考えさせる。

・ C 7 の児童には既習の図形を思い出させ似ている図形を考えさせる。

### 評価

それぞれの考えの共通点を見つけ、既習の図形に直すことのよさがわかる。

・ 方眼を数えさせることにより、方眼で求めることの限界を知らせ、既習の図形にとらえて概測するよさを感得させる。

### (6) 協議会より

- ・ 方眼の方法はねらいとあっていない。方眼を後回しにしたらよかった。
- ・ 量感を大切にするなら、長さを確認するべきである。
- ・ 概形に捉えること量感について矛盾があるのではないか。

### (7) 講評

- ・ 量感を育てる、概測の経験をさせるなど、方向としてはよい。
- ・ 概形をとらえるのに子どもはあまり慣れていない。
- ・ 面積の確認はものさしを使って概形から導き出す方が目的にあっていた。